

学校統合問題

子どもたちの声も聞くべきでは

大人が判断すべきもの

問 1回目の住民説明会が町内9カ所で行われた。参加者の7割の賛成があれば、合意されたのみならずということだが、規範となるものは何か。学校規模適正化検討委員会の中でも話し合われたか。

佐々木教育長 規範としては、近隣市町村での学校再編に係る事例を参考にしながら決定した。学校規模適正化検討委員会の構成員で、県内で複数回の学校再編を経験してい

る学識経験者より、これまでの事例等について話題提供があった。

問 説明会の開始時間について保護者から、間に合わないのもっと遅くしてほしいとの声があり、2回目以降、19時になったが、当初より配慮が足りなかったと思う。1回目の説明会では、参加者の多くから統合に理解を示す意見が述べられたということだが、2回目以降、地区によっては反対の声が上がり、町の

推し進める統合案に対し、驚きや嘆き悲しむ声もあった。住民説明会を踏まえ、学校の統合はど

うなるのか。
教育長 中学校は、9地区全てで合意形成が図られたことから、1校になると考えている。小学校は、大沢小、山田北小、山田南小、織笠小、轟木小、大浦小の6学区で合意が図られたが、豊間根小、船越小は再編の合意形成が図られなかったこ

とから、2校では進めることはできない。荒川小は、豊間根小との再編を希望する声が多かったもので、今後協議する。

なかれば積み重ねてきたものが途絶えてしまうことになるが。
箱山教育次長 地域の良さを大事にしながらも、子どもたちの環境を第一に考えるべきである。

問 大沢小では、子どもたちによる創作劇「海よ光れ」や学校新聞が大変有名である。子どもたちも生きがいを持ってやっていたが、統合で学校が

問 国際条約である「子どもの権利条約」では、子どもも自由に自己の意見を表明する権利があるとしている。会場の保護者からも、子どもの声を聞くべきではとの声があった。教育委員会では「かえって混乱させる」「そのときの感情に捕らわれる」と取り合わないようだが、その姿勢でいいのか。

教育次長 学校再編については、大人が判断すべきものと考えている。子どもたちの不安や疑問を取り除きながら丁寧に進めていきたい。

その他の質問

◆災害公営住宅の共益費負担軽減策は

◆防災・災害時のドローン活用は



木村洋子 議員
(日本共産党)



学校統合問題に揺れた大沢小学校